

施策カルテ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱		市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	商工業の活力を高める	取組の 基本方向	「商工業の活力を高める」ため、商店街が活気にあふれ、地域コミュニティの核としての多面的な機能も発揮するための「商店街の魅力向上」、中小企業の持続的な成長を支えるための「中小企業の経営・技術革新の促進」、企業経営における基礎体力を強化するための「安定した経営基盤の確立」、多様な消費者ニーズに応えた安定した商品提供を実現するための「市場機能の充実」に、重点的に取り組めます。	政策目標 (基本施策目標)	「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、本市の商工業の活力が高まっています。
--------------	--	-------------------------------	----------------	------------	-------------	--	------------------	--

担当課 中央卸売市場

2 施策の現状と達成状況，課題の抽出

施策	市場機能の充実						達成率 (%)						
	施策指標(単位)												
②施策目標	消費者ニーズの多様化に合わせた食料品などを、安定的に供給しています。												
施策 取	国・県等の 動向	平成23年3月に国が策定した「第9次中央卸売市場整備計画」において、当市場の青果部は、中央拠点市場として位置づけられたことから、機能・役割分担の明確化、効率的な流通ネットワークの構築を図っていく。					H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	85.6%
		需要の低迷や市場外流通の増加等により取扱高が減少傾向にある。「第9次中央卸売市場整備計画」において、当市場の水産物部は、再編措置の対象となったため、当該措置を踏まえた取組を推進する必要がある。					実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	-----	
	外部意見 その他	市場関係者等から、各種会議等において「施設・設備の老朽化への対応」「一般開放などの活性化策」「品質管理・衛生管理の高度化に必要な施設・設備」について要望されている。					指標① (総合計画に基づく指標)	187,723	188,004	188,285	188,567	188,849	#DIV/0!
							指標②	187,820	179,478	173,284	161,603	-----	
						指標③	-----	-----	-----	-----	-----	#DIV/0!	
						指標④ (特記事項)	-----	-----	-----	-----	-----		

⑤市民意識調査結果	市民の 施策満足 度	16.1%	市民の 施策重要 度	44.2%	⑥施策の評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	●	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	卸売市場の取扱高は需要の低迷や市場外流通の増加などを背景に減少傾向にあるものの、卸売業者の経営基盤の強化、施設・設備の維持修繕などの取り組みにより、生鮮食料品を安定的に供給している。	⑦現状分析と課題の抽出 ⑧	成果が見られる点	需要の低迷など卸売市場を取巻く環境が厳しさを増す中、整備部会など市場関係者と開設者が一体となって卸売市場の活性化・効率化を推進し、消費者ニーズに合わせた安全・安心な生鮮食料品を安定的に供給している。
	必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	●	増加している	●		横ばい	減少している	説明	市民生活に必要な不可欠な生鮮食料品等を供給する卸売市場は、産地と消費者を結ぶ社会インフラとして重要な役割を担っている。大規模災害発生時には、更なる安全・安心な生鮮食料品の安定供給が求められる。	改善の必要な点	卸売市場を取り巻く環境は厳しさを増し、当市場の取扱高も年々減少しているため、H24目標の取扱高・数量を達成するのは困難な状況である。今後は、市場の活性化を図り市場運営の健全性を確保するため、「市場のあり方」を策定し、市場や食に関するPRの強化を進める必要がある。				
	適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	●	十分である	●		不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	市場の施設・設備は老朽化が進行しており、生鮮食料品等の円滑かつ安定的な取引を確保すべく、計画的な維持整備、修繕を進めている。						
	有効性 (政策目標への効果)	●	十分である	●		やや不十分である	不十分である	説明	市場の役割や食の拠点としての理解を深めもらうため、市場に関する情報提供や食育・地産地消活動(市場見学会など)の取り組みを充実していく必要がある。						

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	再整備事業や市場活性化策などについて幅広い意見を求めるため、平成23年度に市場関係者や学識経験者などによる「宇都宮市中央卸売市場のあり方検討懇談会」設置。「あり方検討懇談会」の意見や「第9次整備計画」等の国の動向を踏まえながら中長期的な「市場のあり方」を策定し、市場機能の充実を図っていく。また、市場の機能が災害などにより損なわれることがないように、生鮮食料品等の流通の強化および市場の安全性確保に取り組む。	策評 意	<ul style="list-style-type: none"> 「市場のあり方検討懇談会」の意見や国の「中央卸売市場整備計画」を踏まえた「市場のあり方」を策定し、市場機能の充実を図っていく。また、市場の機能が災害などにより損なわれることがないように、生鮮食料品等の流通の強化および市場の安全性確保に取り組む。 「市場施設の維持整備・修繕事業」については、市場機能の充実を図るため、市場運営の健全性を確保しながら、市場関係者と連携し、計画的な施設・設備の維持整備・修繕を進めていく。 市場の一般開放を検討すると共に、大型店に対し市場利用要請の働きかけを行っていく。
	重点事業	「市場施設の維持整備・修繕事業」については、市場機能の充実を図るため、市場運営の健全性を確保しながら、市場関係者と連携し、計画的な施設・設備の維持整備・修繕を進めていく。		
	見直し事業			

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
					実績値	実績値					
1	市場施設の維持整備・修繕事業 担当課 中央卸売市場	生産者および実需者	S50	施設整備件数(件)	6	8	112,026	59,856	A	継続	市場機能の充実を図るため、現状を踏まえた今後の「市場のあり方」を策定し、計画的な施設・設備の維持整備・修繕を進めていく。
					10	20					
施策事業費合計							112,026	59,856			